

マタイの福音書 6 章 9-13 節

主の祈り (5)

6:9 だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。

6:10 御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように。

6:11 私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。

6:12 私たちの負いめをお赦してください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。

6:13 私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。』〔国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。アーメン。〕

はじめに

今日は主の祈りシリーズの 5 回目のメッセージなので、短い復習をして始めたいと思います。

神の栄光と神の国の為に、もっと簡単に言えば、感謝と人の為に祈る祈りを先にすれば正しい観点で自分の必要の為に祈れるようになります。祈りの最大の目的は神の御心と一つになる事です。

「みこころが天で行われるように地でも行われるよう」と祈るのはその意味です。自分の必要には、物質的な必要と霊的な必要が含まれています。先週は、最大の必要は罪の赦しを受けることによって同じように人に赦せるようになること、ということについて見ました。今日は続きの13節です。

Matthewマタイ 6:13 「私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。』〔国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。アーメン。〕

1. 試みと誘惑の聖書的な区別。

最初にこれを知らなければ、今日のイエス様の 13 節の言葉を正しく解釈出来ません。試みと誘惑との区別を言いますと、誘惑は試みの中に含まれていますが、神様から来るのではなく、人を駄目にしてしまい滅ぼす目的で誘惑するサタンから来ます。英語訳の聖書はこの箇所を誘惑と翻訳していますが、日本語訳の聖書は「試み」と翻訳しています。なぜなら、原語のギリシャ語は両者とも同じ言葉なので、両方の訳が可能で、ですから、聖書をいつも、話しの前後の流れの中で解釈するのがとても大切です。それでもはっきり分からない場合、同じ事について聖書の他の箇所と合わせて見たら、正しいバランスの取れた解釈が出来ます。聖書全体で見ると、本物の信仰を持っていた人は例外なく神様によって試されました。最も分かりやすい実例を言えば、アブラハムも、ヨブも、イエス様でも、罪と関係なく神様によって試されました。もちろん、皆、悪魔によって罪を犯すように誘惑された事もありましたが、唯一完全に悪魔に打ち勝って一度も罪を犯さなかったのはイエス様だけです。

マタイ 4:1 「さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。」この箇所にも、同じ問題を見る事が出来ます。日本語訳には問題ありませんが、英語訳は主の祈りの13節と同じ言葉なので誘惑と訳してしまい誤解しやすいです。と言うのも、「神様の聖霊によって誘惑に導かれた」と言う間違った解釈をしやすい訳になっています。神様は絶対に罪を犯すように誰をも誘惑する事はありません。自分のひとり子に罪を犯させるような事はありません。尚更です。

ヤコブ 1:13 「だれでも誘惑に会ったとき、神によって誘惑された、と言ってはいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれを誘惑なさることもありません」。

ヤコブはこの後誘惑について教え続けますが、突然関係ないような事を16節に書いています。

ヤコブ1:16-17 「愛する兄弟たち。だまされないようにしなさい。17 すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。」

これが誘惑の教えの続きとしてこの内容に深く関係しています。最初に「だまされないように」と言っています。悪魔は神様から与えられた良い贈り物、また完全な贈り物を通して働いて誘惑して来る事があるのです。先ほど見たマタイ4章の箇所イエス様の最初の誘惑は石をパンに変えて食べる事でした。イエス様は40日も何も食べていませんでしたから、パンを食べたら何が悪いのか、と思われるかもしれませんが、神様の力を自己満足的に使うのが罪になるから、それをしなかったのです。その後で5000人以上の群衆を食べさせる為に奇跡的にパンを作りました。主の祈りの13節の最初の部分の意味は、誘惑に堕らないように祈りなさいと言う意味です。イエス様は他の箇所でも、それを教えていました。

マタイ26:40 「それから、イエスは弟子たちのところに戻って来て、彼らの眠っているのを見つけ、ペテロに言われた。『あなたがたは、そんなに、一時間でも、わたしといっしょに目をさましていることができなかつたのか。41 誘惑に陥らないように、目をさまして、祈っていなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです。』」

これが主の祈りの13節と一致している意味です。誘惑からの守りの祈りです。

2. 本物の信仰は試されなければならない。

これを神様の御国の霊的な法則として知っているなら、このイエス様の言葉に対する誤解を避けられます。

マタイ6:13 「私たちが試みに会わせないで、悪からお救いください。』〔国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。アーメン。〕

日本語訳も英語訳も、誤解されやすい部分があります。これは、試練に合わせないで下さいの意味でもないし、誘惑に導かないで下さいの意味でもありません。試みの中でも、悪から守って下さいという祈りです。先ほど3人の名前を実例として言いましたが、神様は本物の信仰を必ず試して強めます。それによって、増々強くなって成長して本物として証明されます。だから、試練に合わせないで下さという祈りなら、何も意味がないのです。

ペテロ第一1:7. 「信仰の試練は、火を通して精練されてもなお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称賛と光栄と栄誉に至るものであることがわかります。」

誰も、試練が楽しいと思う人はいませんが、覚えておかなければならないのは、結果としてこれによってもっと神様の愛を深く知って自分の信仰が必ず成長してもっと強くなることなので、逃げない方がいいのです。

聖書にある実例

先程、イエス様の実例をみましたが、ほかの3人の例を見て頂きたいです。

アブラハムは神様によって試されて信仰が全うされて聖書で信仰の父と呼ばれるようになりました。

ローマ4:20 「彼は、不信仰によって神の約束を疑うようなことをせず、反対に、信仰がますます強くなって、神に栄光を帰しました。」

ヨブは旧約聖書で一番試されましたが、聖書全体の最高の信仰告白が出来ました。

ヨブ記13:15. 「見よ。神が私を殺して、私は神を待ち望み、なおも、私の道を神の前に主張しよう。」

使徒パウロは新約聖書で一番試されましたが、処刑される直前に次の信仰告白が出来ました。

テモテ第二1:12. 「そのために、私はこのような苦しみにも会っています。しかし、私はそれを恥とは思っていません。というのは、私は、自分の信じて来た方をよく知っており、また、その方は私のお任せしたものを、かの日のために守ってくださることができると確信しているからです」。これほどの強い信仰の確信は一日だけで与えられる物ではありません。しかも、沢山試された人々が最高の信仰告白によって神様に栄光を返す事が出来たのは偶然ではありません。もちろん、イエス様は主の祈りの中で試練に会わないという意味で、「試されないように祈りなさい」と教えるは

ずはありません。逆に試練の中で悪魔から守られて、負けないように祈りなさい、と教えているのです。イエス様は自分の経験から教えています。一番弱っている時に、疲れている時に、苦しい時に罪を犯すように働きかけて来る典型的な汚い作戦を取るのが悪魔です。イエス様は悪魔の策略から守られるように祈りなさいと言っています。

神様は試練から守るのではなくて、試練の中で強めて全てを乗り越えて勝利に導いて下さいます。これは、神様の御国の霊的な法則として自然界や肉体的な法則でも見る事が出来ます。健康も、体全体も、戦う事によって更に強くなります。前にも言いましたが、次の英語の言い回しがあります。「What doesn't kill you, strengthens you.」 「自分を死なせない事なら、それは逆に自分を強めてくれる。」

ヤコブ1:2-4. 「私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。3 信仰がためされると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。」

「さまざまな試練をこの上もない喜びと思いなさい。」簡単に言い換えれば、試練はあなたの信仰をもっと強めてもっと成長させ、もっと自分にとって尊いものにしてくれます。

ここにある忍耐の意味は辛抱強く諦めないで最後まで乗り越えて勝利させてくれるという意味です。それによって信仰が完成させられるという意味です。天国に入るまで人間として完全になる人はいませんが信仰に於いて完全になる事が出来ます。同じ箇所の12節と一致しています。

ヤコブ1:12 「試練に耐える人は幸いです。耐え抜いて良しと認められた人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠を受けるからです。」

英語訳はここも誘惑と訳されていますが、日本語の方がいいです。誘惑だけの意味ではなくて全ての試練に乗り越えるという意味です。少し前に見た黙示録の七つの手紙の全ての結論は同じでした。勝利を得る者に、永遠の御国が与えられます。

3. 神様の力によって守られている。

マタイ6:13. 「私たちが試みに会わせないで、悪からお救いください。』〔国と力と栄えは、とこしえにあなたのもものだからです。アーメン。〕

13節の最後の部分が、かっこの中にある理由を説明する必要があります。主の祈りが記録されているもう一箇所がありますが、そのルカの福音書の11章には「国と力と栄はとこしえにあなたのもものだからです。」と言う部分は含まれていません。

ルカ11:4 「私たちの罪をお赦しください。私たちも私たちに負いめのある者をみな赦します。私たちが試みに会わせないでください。』」

と終わっています。

学者達の説明から言いますと、最も古い原稿を見て確認したら、その部分が含まれている原稿と含まれていない原稿の両方があります。でも、このメッセージシリーズの最初のメッセージと2番目のメッセージでも説明したように、主の祈りの前半を正しく理解すれば、神の御名の栄光と御国の為に祈るように言われています。最初の「天におられる父」と言う名前の中で、主を天と地の主として認めて、全ての主権を持っておられるという認識を持って祈るように言われています。ですから国と力と栄はとこしえにあなたのもものだからという最後の部分は全く同じ事を繰り返しているだけです。最初から最後まで全ての祈りは神の御心に服従しているということです。最初から繰り返して言っているように、祈る最大の目的は欲しい物をもらうだけではなくて御心と一つになる事です。そうすれば、全ての願いが神様の栄光になるから、叶えられます。

終わりに、私達の為に働く神様の力について、もう少しだけ話をして終わりたいです。自分ひとりで全てを乗り越えて最後まで信仰を守り抜く人はひとりもないから、安心して頂きたいです。キリストの復活の力、つまり、神様の全能の力がイエス様の信者の中で働いて守って下さいます。

第一ペテロ1:5. 「あなたがたは、信仰により、神の御力によって守られており、終わりのときに現わされるように用意されている救いをいただくのです。」

2つ目のポイントで一緒に見た、試練によって試されるという箇所の中の御言葉です。と言うのは試練を通る時に、神様の力によって守られるという前提があります。

ペテロは自分の経験から話しているのです。一番辛い試練の時にイエス様に前持って言われました。ルカ22:31「シモン、シモン。見なさい。サタンが、あなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って聞き届けられました。22:32しかし、わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました。だからあなたは、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」」ペテロは自分の力だけで戦おうとしてから、辛い経験をしましたが、神の力によって守られて回復して神様の栄光になる勝利に導かれました。

先週のメッセージの後で「赦す為に強さが必要ですね。」と言われました。私の答えは「その通り」、ですが、「私の力」ではありません。誤解されやすいのは、イエス様の信者は普段、あり得ないような試練を乗り越える事によって自分の意志の強さで乗り越えて来たと思われてしまいます。私は、25年間、神戸刑務所で教誨師として奉仕して来ましたが、元所長に「あなたの額に意志が強いと書いてあります。」と言われたことがあります。人生で乗り越えて来た困難や試練について言われていました。はっきり言いますが、私の力だけでしたら、一週間も持たなかったのです。私は極端な事情の中にいましたから、神様はそれに合わせて力を与えて下さいました。皆さんは他の信者の劇的な極端な証を聞く時に、「私ならとても出来ない」と思うのです。このシリーズの3番目のメッセージで言いましたが、神様は必要に応じて必要な時に、恵みを与えて力と守りと助けと導きを与えられます。何の犠牲もないような楽な生活をしている時に、その必要はないから、与えられないのです。イエス様の為に命をかけて証しをしたら、あなたも神様の更なる恵みと力を体験します。聖書で証しと殉教する事は同じ原語から来ています。

まだイエス様を受け入れていない人に言いたいですが、自分はそのままで信じられないとか、そのままで信仰を守れないから、決心出来ない、と思っているなら、安心して決心してイエス様を受け入れて下さい。それを実行したら、今まで経験した事のない神の恵みによって信仰の確信が来ます。

まとめ。

ヘブル人13:5-6. 「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」

13:6そこで、私たちは確信に満ちてこう言います。「主は私の助け手です。私は恐れません。人間が、私に対して何ができましょう。」

この約束の文脈、特に続きの7-8節を正しく理解出来たら、更なる確信に溢れて来ます。

13:8「イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。」

昔の人々に与えられたように今も同じです。順番も同じで、実行してから確信が与えられます。何もしないで待つなら、与えられません。